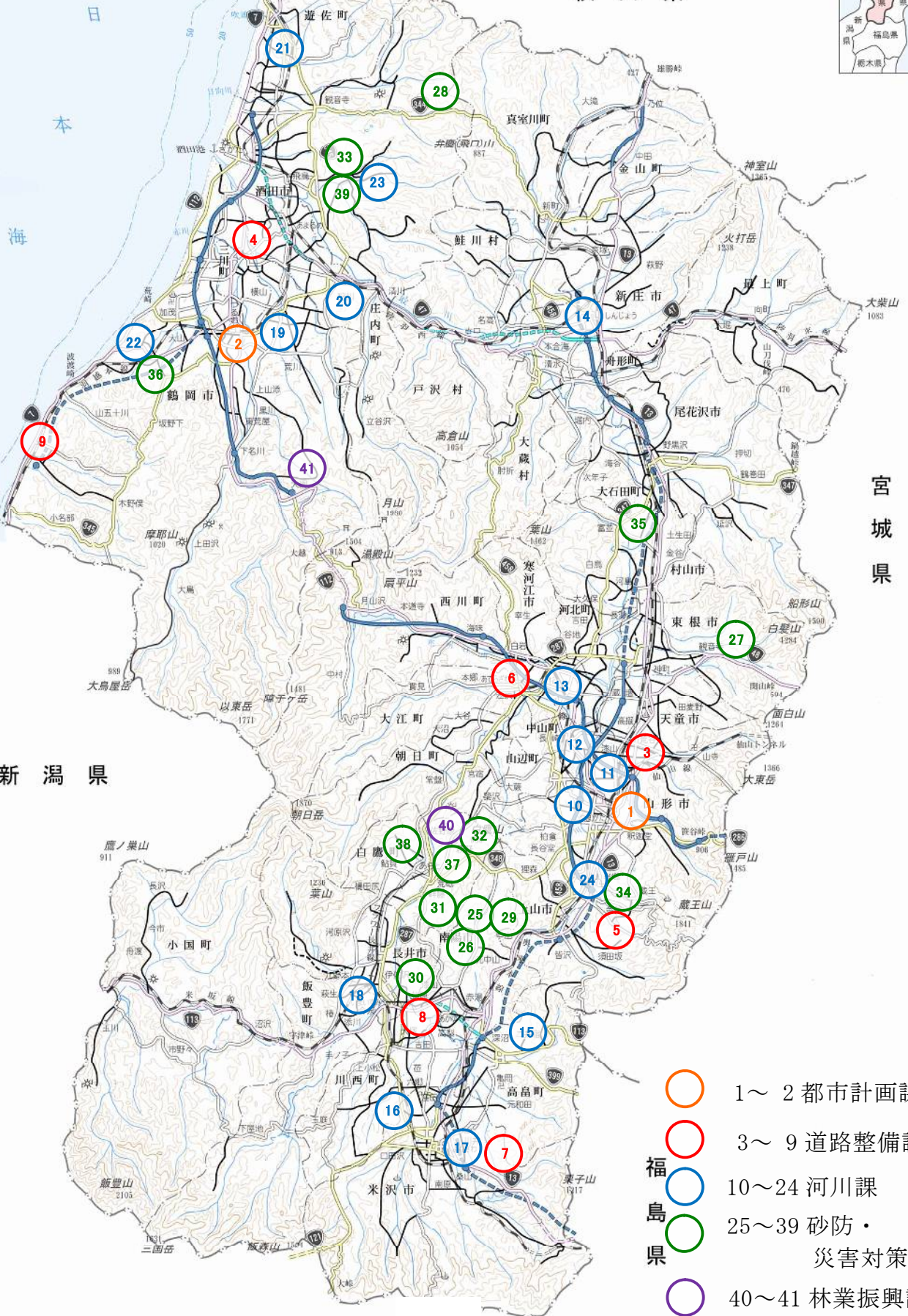


平成30年度公共事業評価監視委員会の案件表

事業種別	県 (県土 整備部)	県 (農林 水産部)	市町村	合計	総合評価					
					継a(i)	継a(ii)	継a(iii)	継b(i)	継b(ii)	継c(i)
街路事業	2			2			2			
道路改築事業	2			2				1		1
交通安全道路事業	5			5	1	2		1		1
河川改修事業	15			15	9		1		5	
土砂災害対策事業(砂防)	9			9			7	2		
土砂災害対策事業(地すべり)	1			1			1			
土砂災害対策事業(急傾斜)	5			5	2		3			
林道事業		1		1						1
地すべり防止事業		1		1						1
合 計	39	2	0	41	12	2	14	4	5	4

平成 30 年度公共事業評価事業箇所図

秋 田 県



平成30年度 事業中評価対象事業一覧

資料3-3

事業名	路線名 河川名等	施行場所	進捗状況(計画年次)			進捗状況(事業費等)		主な事業効果 ● 貨幣換算し、費用便益分析における便益(B)に計上している事業効果 ○ 貨幣換算する手法が確立されていないものの、事業により得られる効果	事業中評価対象となる理由	計画年次の遅れの理由	総合評価
			採択年	目標年 (当初又は 前回評価時 目標年)	計画年次 の遅れ	全体事業費 (進捗度)	全体延長等 (供用延長等)				
1 街路整備事業	山形広域都市計画 道路 3・2・5旅籠町八日 町線	山形市七日町～ 本町	H21	H36 (H32)	4年	74.7億円 (58.9%)	L=586.1m (L=0m)	● 現道拡幅により、走行時間が短縮され、走行経費の低減が期待できる。 ○ 緊急輸送道路の無電柱化により都市防災機能の向上が図られる。 ○ 一方通行の解除により、緊急輸送道路の機能強化が図られる。 ○ 歩道幅員が確保され、歩行者の安全性向上が図られる。	評価後 5年経過	・予算減少	継a(iii)
2 街路整備事業	鶴岡都市計画道路 3・6・1道形黄線	鶴岡市馬場町	H26	H34 (H30)	4年	6.9億円 (14.9%)	L=277.6m (L=0m)	● 現道拡幅により走行時間が短縮され、走行経費の低減が期待できる。 ○ 歩道幅員が確保され、歩行者の安全性向上が図られる。 ○ 緊急輸送道路の無電柱化により都市防災機能の向上が図られる。	採択後 5年経過	・予算減少	継a(iii)
3 道路事業(改築)	主要地方道 やまがたやまでら 山形山寺線	やまがたしおもり 山形市大森 あらやはし (荒谷橋工区)	H21	H34 (H30)	4年	26.5億円 (68.5%)	L=880m (0m)	○ 築90年を経過した老朽橋を新橋に架替えることで、道路の安全性が向上する。 ○ 道路幅員の確保により、走行性・安全性の向上が図られる。	評価後 5年経過	用地(条件)	継b(i)
4 道路事業(改築)	一般県道 はまなかあまるの 浜中余目線	さかたしひろの 酒田市広野	H26	H33 (H28)	5年	3.0億円 (19.2%)	L=420m (0m)	● 現道拡幅により走行時間が短縮され、走行経費の低減が期待できる。 ○ 現道拡幅による隘路解消により、走行性・安全性の向上が図られる。 ○ 歩道幅員が確保され、歩行者の安全性向上が図られる。	採択後 5年経過	用地(条件)	継c(i)
5 道路事業(交通安全)	主要地方道 しろいしかみのやま 白石上山線	かみのやましの 上市市永野	H21	H34 (H29)	5年	2.8億円 (26.0%)	L=583m (0m)	○ 歩道整備により、歩行者の安全性が確保される。 ○ 歩行者と自動車の通行帯が分離され、交通事故発生抑制が期待される。	評価後 5年経過	用地(公団との不一致)	継c(i)
6 道路事業(交通安全)	主要地方道 おおえにしかわ 大江西川線	おおえまちあてらざわ 大江町左沢	H26	H31 (H31)	0年	2.3億円 (65.0%)	L=190m (0m)	○ 歩道整備により、歩行者の安全性が確保される。 ○ 歩行者と自動車の通行帯が分離され、交通事故発生抑制が期待される。 ○ 交差点の見通しが改善され、交通事故発生抑制が期待される。	採択後 5年経過		継a(i)
7 道路事業(交通安全)	主要地方道 よねざわいなわしろ 米沢猪苗代線	よねざわしまるのうち 米沢市丸の内	H26	H32 (H30)	2年	8.6億円 (58.4%)	L=110m (0m)	○ 歩道整備により、歩行者の安全性が確保される。 ○ 歩行者と自動車の通行帯が分離され、交通事故発生抑制が期待される。 ○ 交差点の改良により交通渋滞の解消が期待される。	採択後 5年経過	用地(条件)	継a(ii)
8 道路事業(交通安全)	一般県道 りんごうあかゆていしやしょう 梨郷赤湯停車場線	なんようしだけほら 南陽市竹原	H26	H31 (H30)	1年	1.7億円 (71.3%)	L=290m (0m)	○ 歩道整備により、歩行者の安全性が確保される。 ○ 歩行者及び自転車と自動車の通行帯が分離され、交通事故発生抑制が期待される。	採択後 5年経過	用地(条件)	継a(ii)
9 道路事業(交通安全)	主要地方道 あまるめあつみ 余目温海線	つるおかしあつみ 鶴岡市温海	H21	H32 (H29)	3年	20.3億円 (58.4%)	L=267m (66m)	○ 歩道整備により、歩行者の安全性が確保される。 ○ 歩行者と自動車の通行帯が分離され、交通事故発生抑制が期待される。	評価後 5年経過	関係機関調整 (JR)	継b(i)
10 河川改修事業	須川	山形市飯塚～ 上市市金瓶	S50	H50 (H50)	-	245.9億円 (37.9%)	10,801m	● 河川改修により氾濫区域内の下記の浸水被害の低減を図る。 ● 家屋1,921戸、水田・農地323.9ha、事業所や公共土木施設等の直接被害。 ● 事業所等の営業停止損失、家屋等の清掃等の応急対策費用などの間接被害。 ○ 交通途絶、ライフライン切断、事業所の休業等に伴う波及被害の低減を図る。	事業中 評価後 5年経過	-	継a(i)
11 河川改修事業	馬見ヶ崎川	山形市成安～ 山形市青柳	S58	H35 (H35)	-	194.2億円 (84.1%)	7,442m	● 河川改修により氾濫区域内の下記の浸水被害の低減を図る。 ● 家屋322戸、水田・農地24.1ha、事業所や公共土木施設等の直接被害。 ● 事業所等の営業停止損失、家屋等の清掃等の応急対策費用などの間接被害。 ○ 交通途絶、ライフライン切断、事業所の休業等に伴う波及被害の低減を図る。	事業中 評価後 5年経過	-	継a(i)
12 河川改修事業	新堀川	中山町長崎	S62	H45 (H45)	-	31.7億円 (67.0%)	1,940m	● 河川改修により氾濫区域内の下記の浸水被害の低減を図る。 ● 家屋169戸、水田・農地65.6ha、事業所や公共土木施設等の直接被害。 ● 事業所等の営業停止損失、家屋等の清掃等の応急対策費用などの間接被害。 ○ 交通途絶、ライフライン切断、事業所の休業等に伴う波及被害の低減を図る。	事業中 評価後 5年経過	-	継a(i)
13 河川改修事業	沼川	寒河江市本町～ 寒河江市新山	S52	H32 (H28)	4	75.0億円 (97.3%)	4,450m	● 河川改修により氾濫区域内の下記の浸水被害の低減を図る。 ● 家屋2,296戸、水田・農地140.7ha、事業所や公共土木施設等の直接被害。 ● 事業所等の営業停止損失、家屋等の清掃等の応急対策費用などの間接被害。 ○ 交通途絶、ライフライン切断、事業所の休業等に伴う波及被害の低減を図る。	事業中 評価後 5年経過	・予算減少	継a(iii)
14 河川改修事業	指首野川	新庄市川西町～ 新庄市太田	H1	H35 (H30)	5	110.0億円 (43.2%)	2,400m	● 河川改修により氾濫区域内の下記の浸水被害の低減を図る。 ● 家屋3,318戸、水田・農地319.3ha、事業所や公共土木施設等の直接被害。 ● 事業所等の営業停止損失、家屋等の清掃等の応急対策費用などの間接被害。 ○ 交通途絶、ライフライン切断、事業所の休業等に伴う波及被害の低減を図る。	事業中 評価後 5年経過	・予算減少	継b(ii)

事業名	路線名 河川名等	施行場所	進捗状況(計画年次)			進捗状況(事業費等)		主な事業効果 ● 貨幣換算し、費用便益分析における便益(B)に計上している事業効果 ○ 貨幣換算する手法が確立されていないものの、事業により得られる効果	事業中評価対象となる理由	計画年次の遅れの理由	総合評価
			採択年	目標年 (当初又は 前回評価時 目標年)	計画年次 の遅れ	全体事業費 (進捗度)	全体延長等 (供用延長等)				
15 河川改修事業	屋代川(吉野川)	南陽市大橋～高島町安久津	S45	H35 (H30)	5	192.6億円 (70.5%)	11,581m	●河川改修により氾濫区域内の下記の浸水被害の低減を図る。 ●家屋4,801戸、水田・農地1,351ha、事業所や公共土木施設等の直接被害。 ●事業所等の営業停止損失、家屋等の清掃等の応急対策費用などの間接被害。 ○交通途絶、ライフライン切断、事業所の休業等に伴う波及被害の低減を図る。	事業中 評価後 5年経過	・予算減少	継b(ii)
16 河川改修事業	誕生川	米沢市長崎～米沢市京塚	H2	H37 (H37)	-	28.3億円 (62.3%)	2,600m	●河川改修により氾濫区域内の下記の浸水被害の軽減を図る ●家屋121戸、水田・農地246.0ha、事業所や公共土木施設等の直接被害。 ●事業所等の営業停止損失、家屋等の清掃等の応急対策費用などの間接被害。 ○交通途絶、ライフライン切断、事業所の休業等に伴う波及被害の低減を図る。	事業中 評価後 5年経過	-	継a(i)
17 河川改修事業	羽黒川	米沢市花沢～米沢市三沢	H12	H40 (H40)	-	29.2億円 (27.6%)	5,700m	●河川改修により氾濫区域内の下記の浸水被害の軽減を図る ●家屋387戸、水田・農地21.3ha、事業所や公共土木施設等の直接被害。 ●事業所等の営業停止損失、家屋等の清掃等の応急対策費用などの間接被害。 ○交通途絶、ライフライン切断、事業所の休業等に伴う波及被害の低減を図る。	事業中 評価後 5年経過	-	継a(i)
18 河川改修事業	萩生川	飯豊町黒沢	H9	H34 (H28)	6	22.3億円 (80.7%)	1,680m	●河川改修により氾濫区域内の下記の浸水被害の軽減を図る ●家屋99戸、水田・農地194.4ha、事業所や公共土木施設等の直接被害。 ●事業所等の営業停止損失、家屋等の清掃等の応急対策費用などの間接被害。 ○交通途絶、ライフライン切断、事業所の休業等に伴う波及被害の低減を図る。	事業中 評価後 5年経過	・予算減少	継b(ii)
19 河川改修事業	黒瀬川	鶴岡市羽黒町黒瀬～鶴岡市羽黒町古郡	S63	H33 (H33)	-	29.5億円 (79.9%)	4,833.5m	●河川改修により氾濫区域内の下記の浸水被害の低減を図る。 ●家屋28戸、事業所9件、農地61.0ha、公共土木施設等の直接被害 ●事業所等の営業停止損失、家屋等の清掃等の応急対策費用などの間接被害 ○交通途絶、ライフライン切断、事業所の休業等に伴う波及被害の低減を図る。	事業中 評価後 5年経過	-	継a(i)
20 河川改修事業	宇津野沢川	庄内町千本杉	H3	H42 (H42)	-	19.4億円 (39.7%)	2,770m	●河川改修により氾濫区域内の下記の浸水被害の低減を図る。 ●家屋38戸、事業所3件、農地166.6ha、公共土木施設等の直接被害 ●事業所等の営業停止損失、家屋等の清掃等の応急対策費用などの間接被害 ○交通途絶、ライフライン切断、事業所の休業等に伴う波及被害の低減を図る。	事業中 評価後 5年経過	-	継a(i)
21 河川改修事業	月光川	飽海郡遊佐町吹浦～飽海郡遊佐町遊佐	S21	H32 (H32)	-	113.0億円 (88.3%)	15,900m	●河川改修により氾濫区域内の下記の浸水被害の軽減を図る ●家屋54戸、水田・農地11ha、事業所や公共土木施設等の直接被害。 ●事業所等の営業停止損失、家屋等の清掃等の応急対策費用などの間接被害。 ○交通途絶、ライフライン切断、事業所の休業等に伴う波及被害の低減を図る。	事業中 評価後 5年経過	-	継a(i)
22 河川改修事業	矢引川	鶴岡市大字大荒～鶴岡市大字中沢	H1	H37 (H32)	5	15.8億円 (68.5%)	1,844m	●河川改修により氾濫区域内の下記の浸水被害の軽減を図る ●家屋28戸、水田・農地65.5ha、事業所や公共土木施設等の直接被害。 ●事業所等の営業停止損失、家屋等の清掃等の応急対策費用などの間接被害。 ○交通途絶、ライフライン切断、事業所の休業等に伴う波及被害の低減を図る。	事業中 評価後 5年経過	・予算減少	継b(ii)
23 河川改修事業	中野俣川	酒田市中野俣～酒田市円能寺	H1	H38 (H38)	-	30.2億円 (59.5%)	4,190m	●河川改修により氾濫区域内の下記の浸水被害の低減を図る。 ●家屋50戸、水田83ha、公共土木施設等の直接被害。 ○交通途絶、ライフライン切断、事業所の休業等に伴う波及被害の低減を図る。	事業中 評価後 5年経過	-	継a(i)
24 河川改修事業	松尾川	山形市蔵王半郷	H21	H32 (H27)	5	4.8億円 (64.6%)	450m	●河川改修により氾濫区域内の下記の浸水被害の低減を図る。 ●家屋40戸、事業所7件、農地6.4ha、公共土木施設等の直接被害 ●事業所等の営業停止損失、家屋等の清掃等の応急対策費用などの間接被害 ○交通途絶、ライフライン切断、事業所の休業等に伴う波及被害の低減を図る。	事業中 評価後 5年経過	・予算減少	継b(ii)
25 土砂災害対策事業(砂防)	下荻下沢	南陽市下荻	H26	H32 (H30)	2	2.8億円 (72.7%)	えん堤工1基 (0基)	●下荻地区の人家4戸の家屋、家庭用品被害及び人的被害を軽減する。 ●県道100m、市道200mの施設被害を軽減する。 ●農地2.0haの農作物被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	採択後 5年経過	・予算減少	継a(iii)
26 土砂災害対策事業(砂防)	虫沢	南陽市下荻	H26	H34 (H30)	4	4.2億円 (26.5%)	えん堤工2基 (0基)	●下荻地区の人家4戸の家屋、家庭用品被害及び人的被害を軽減する。 ●県道100m、市道200mの施設被害を軽減する。 ●農地2.0haの農作物被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	採択後 5年経過	・予算減少	継a(iii)
27 土砂災害対策事業(砂防)	養泉寺沢	東根市関山	H26	H31 (H30)	1	2.8億円 (78.3%)	えん堤工1基 (0基)	●関山地区の人家16戸の家屋、家庭用品被害及び人的被害を軽減する。 ●国道290m、市道210m、休石公民館等の施設被害を軽減する。 ●農地1.7haの農作物被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	採択後 5年経過	・予算減少	継a(iii)
28 土砂災害対策事業(砂防)	女殺沢川	酒田市北青沢	H26	H33 (H30)	3	2.0億円 (42.0%)	えん堤工1基 (0基)	●北青沢地区の人家3戸の家屋、家庭用品被害及び人的被害を軽減する。 ●県道140m、大沢地区多目的集会施設等の施設被害を軽減する。 ●農地0.5haの農作物被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	採択後 5年経過	・予算減少	継a(iii)

	事業名	路線名 河川名等	施行場所	進捗状況(計画年次)			進捗状況(事業費等)		主な事業効果 ● 貨幣換算し、費用便益分析における便益(B)に計上している事業効果 ○ 貨幣換算する手法が確立されていないものの、事業により得られる効果	事業中評価対象となる理由	計画年次の遅れの理由	総合評価
				採択年	目標年 (当初又は 前回評価時 目標年)	計画年次 の遅れ	全体事業費 (進捗度)	全体延長等 (供用延長等)				
29	土砂災害対策事業 (砂防)	横町川	上山市中山	H26	H35 (H32)	3	2.0億円 (39.5%)	えん堤工1基 (0基)	●中山地区の人家7戸の家屋、家庭用品被害及び人的被害を軽減する。 ●市道200mの施設被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	採択後 5年経過	・予算減少	継a(iii)
30	土砂災害対策事業 (砂防)	毛無沢	長井市芦沢	H26	H35 (H31)	4	2.0億円 (12.9%)	えん堤工1基 (0基)	●芦沢地区の人家8戸の家屋、家庭用品被害及び人的被害を軽減する。 ●市道100mの施設被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	採択後 5年経過	・予算減少	継a(iii)
31	土砂災害対策事業 (砂防)	大杉沢	白鷹町畔藤	H26	H35 (H31)	4	2.0億円 (15.2%)	えん堤工1基 (0基)	●畔藤地区の人家3戸の家屋、家庭用品被害及び人的被害を軽減する。 ●町道200mの施設被害を軽減する。 ●農地0.3haの農作物被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	採択後 5年経過	・予算減少	継a(iii)
32	土砂災害対策事業 (砂防)	釜ノ沢	白鷹町滝野	H26	H34 (H30)	4	2.5億円 (33.3%)	えん堤工2基 (0基)	●滝野地区の人家20戸の家屋、家庭用品被害及び人的被害を軽減する。 ●国道471m、町道1,072m、細野公民館等の施設被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	採択後 5年経過	・用地(相続)	継b(i)
33	土砂災害対策事業 (砂防)	東光坊沢	酒田市山谷新田	H26	H34 (H31)	3	1.5億円 (17.9%)	えん堤工1基 (0基)	●山谷新田地区の人家3戸の家屋、家庭用品被害及び人的被害を軽減する。 ●県道61m、市道49m、水防倉庫の施設被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	採択後 5年経過	・用地(境界)	継b(i)
34	土砂災害対策事業 (地すべり)	鳴の谷地	上山市小倉	H1	H31 (H27)	4	36.1億円 (99.0%)	集水井工33基 (32基) 水路工3,080m (3,080m)	●小倉地区、金生地区の人家106戸の家屋、家庭用品被害及び人的被害を軽減する。 ●県道1542m、市道900m、橋梁2橋の施設被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	事業中 評価後 5年経過	・予算減少	継a(iii)
35	土砂災害対策事業 (急傾斜)	大淀	村山市大淀	H26	H31 (H31)	—	1.2億円 (67.9%)	擁壁工69.9m (26.1m)	●大淀地区の人家3戸の家屋、家庭用品被害及び人的被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	採択後 5年経過	—	継a(i)
36	土砂災害対策事業 (急傾斜)	中沢	鶴岡市中沢	H26	H31 (H31)	—	1.1億円 (71.3%)	擁壁工8.5m (0m) 法枠工1,130m ² (650m ²)	●中沢地区の人家3戸の家屋、家庭用品被害及び人的被害を軽減する。 ●公民館1棟の施設被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	採択後 5年経過	—	継a(i)
37	土砂災害対策事業 (急傾斜)	関寺	白鷹町十王	H26	H33 (H30)	3	3.0億円 (60.7%)	排土工28m (28m) 法枠工2,900m ² (930m ²)	●関寺地区の人家5戸の家屋、家庭用品被害及び人的被害を軽減する。 ●県道70m、町道225mの施設被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	採択後 5年経過	・予算減少	継a(iii)
38	土砂災害対策事業 (急傾斜)	高岡	白鷹町高岡	H21	H31 (H27)	4	2.0億円 (83.7%)	擁壁工142m (110m) 法枠工1,100m ² (920m ²)	●高岡地区の人家7戸の家屋、家庭用品被害及び人的被害を軽減する。 ●県道70m、町道170m、公民館1棟の施設被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	事業中 評価後 5年経過	・予算減少	継a(iii)
39	土砂災害対策事業 (急傾斜)	下夕村	酒田市田沢	H26	H33 (H30)	3	1.4億円 (27.4%)	擁壁工143.9m (0m) 法枠工1,751m ² (0m ²)	●下夕村地区の人家5戸の家屋、家庭用品被害及び人的被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	採択後 5年経過	・予算減少	継a(iii)
40	(県施工) 林道事業	シラカ トウブ セン 白鷹東部線	シラカマチ アラオツ 白鷹町荒砥乙	H16	H40 (H30)	10年	11.7億円 (62.2%)	10,925m (5,112m)	●路網の整備により、木材の搬出経費や輸送トラックの大型化による輸送経費の縮減が図られる。 ○林道整備に伴うコスト縮減により間伐が促進される。	事業中 評価後 5年経過	・災害復旧	継c(i)
41	(県施工) 地すべり防止事業	オオアミ 大網	ツルオカシ オオアミ 鶴岡市大網	H20	H37 (H37)	—	9.2億円 (43.6%)	集水井12基 (集水井6基)	●林地、市道、田、畑等の施設被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上することができる。	採択後 10年経過	・予算減少	継c(i)